

# 確実な成長の先に ～君の可能性を大きく広げよう～

小さな島にある小さな高校。1学年1クラスだけ。全校生徒は70名ほど。島にもこれといって何もない。普通に考えればデメリットの方が多く存在します。しかし、あえて、そのデメリットをメリットと考え、「島全体を学校ととらえれば、これだけ広大で、様々な施設・設備が整い、自然の資源、恵みや専門家、人材が豊富にそろった学校は他にないのではないか。」そんな逆転の発想から生まれた「まなびじま奥尻プロジェクト」の数々の取り組みでは、本校ならではの10のアドバンテージを最大限に活かした教育を展開しています。

- ① 四方を海で囲まれ、勉学に集中できる最高の学習環境
- ② ある意味、一つの国のような島で、地域振興を研究できるプロジェクト
- ③ スノーダイビングの資格がとれ、潜水士の資格に挑戦できるプログラム
- ④ 校外でも、社会人とともに高い英語コミュニケーション能力を身につける環境
- ⑤ Teacher-student Ratioが1:6の世界がうらやむ学習環境
- ⑥ 難関大学から一般企業の就職まで、第一希望の実現に実績のある評価の高い進路指導
- ⑦ ほぼマンツーマンで、個のニーズに特化した進路指導
- ⑧ 大学や企業と手を組み、積極的に町おこしについて考え、行動するプロジェクト
- ⑨ 受け身どころか、自分から説明や発表、質疑応答する機会が多い授業
- ⑩ 中心メンバーとして活躍できる部活動

これらの教育環境や学習機会をとおり、本校のスクール・ミッション

- 島に誇りと愛着をもち、地域課題の発見・解決に向けて対応できる人材の育成
- 島内外で活躍する「持続可能な社会づくりの主体者」の育成
- 多文化共生、国際感覚をもったグローバルな人材の育成

の達成を目指し、これからの人生をより良く生きていくために、身につけてほしい資質・能力『Okushirity5.0』を明示し、5つの柱「知性」「価値の創造」「人間関係形成能力」「主体性」「ふるさとへの愛着」を身につけるための教育活動を、学校内だけではなく島全体で行っています。

また、全国各地から集まってくる生徒たちとの学校や寮での集団生活や地域の様々な方々とのふれあいの中で「多様性の受容」も自然と身につけていきます。

すべての活動には、生徒一人ひとりに活躍の場が与えられ、生き生きと躍動し、ときに壁にぶつかり、仲間と協力しながら乗り越え、人として成長していきます。

ここには最先端の学びがあります。『まなびじま奥尻』が君を確実に成長させてくれます。君の限らない可能性を大きく広げ、様々なことに挑戦し、未来へと歩き出してみませんか。



北海道奥尻高等学校長 佐野 住夫



## ロゴに込められた意味

- ◎五角形は佐藤義則氏を生んだ、野球が盛んな奥尻島の象徴として野球のホームベースをイメージしている。
- ◎上部の図形は、奥尻の山(神威山、球島山)と太陽に照らされている海を表しており、島全体が学校である「まなびじま奥尻」を表し、前に進む船のイメージでもある。
- ◎oQoは奥高の読み音「オッコー」を表しており、上の船尾の気泡をイメージしている。
- ◎2016は町立奥尻高校がスタートした年を表している。

## 奥尻高校沿革

昭和49年	北海道江差高等学校奥尻分校として設置認可(全日制普通科1学級)	平成10年	平成9年度榎山管内教育実践表彰受賞
昭和50年	昭和50年度入学合格者45名(男子25名・女子20名)発表 北海道江差高等学校奥尻分校として開校許可 開校式及び入学式挙行(入学生男子25名・女子18名・合計43名) 普通教室2・生徒玄関(219.48㎡)・自転車置場の増築工事完成	平成14年	1間口校となる
昭和51年	校歌制定、校舎増築工事(普通教室2・被服教室・芸術教室兼図書館・職員室・保健室・事務室・玄関・両便所)690.30㎡完成、改修工事(普通教室1・当直室)122.85㎡完成、北海道奥尻高等学校設置認可	平成16年	体育館暖房改修工事完成
昭和52年	北海道奥尻高等学校開校許可、開校式挙行	平成18年	平成17年度教育情報化設備工事(校内LAN完成) 屋外プール改修工事完了
昭和53年	第1回卒業式挙行	平成19年	開校30周年記念式典挙行
昭和54年	校舎増築工事(体育館他1,070.83㎡)完成	平成24年	太陽光パネル設置
昭和55年	柔剣道場新築工事(310.10㎡)完成	平成28年	町立移管記念式典挙行、北海道奥尻高等学校町立移管 まなびじま奥尻プロジェクト開始 北海道奥尻高等学校通学区域規則を改定し、全国からの生徒募集を開始
昭和62年	校舎改築工事(校舎・物置3,021.4㎡)完成、屋内体育館改築工事(屋体・渡り廊下1,073.53㎡)完成、創立12周年開校10周年並びに校舎改築落成記念式典挙行、校舎改築外構工事完成	平成29年	連携型中高一貫教育導入 島留学制度開始
昭和64年	屋外プール新築工事完成	平成31年	まなびじま松風寮完成、2019年度入学者より入寮開始
平成 7年	校訓(創造、自律、実践)の制定	令和 2年	令和元年度榎山管内教育実践表彰受賞 学校教育目標改定、まなびじま松風寮増築完了 推薦入学者選抜試験導入
平成 8年	開校20周年記念式典挙行、平成9年度より特例2間口校となる 再入学制度の導入	令和 3年	令和2年度北海道教育実践表彰受賞
		令和 4年	令和3年度文部科学大臣優秀教職員表彰受賞



**奥高生活で自分が成長したと  
感じていることを教えてください。**

私が成長したと感じることは、「発表する力」です。  
奥尻高校では、町おこしやオープンキャンパスなど、人前で発表する機会がとても多いです。発表資料の作成や発表する内容も自分たちで考えるので大変でしたが、最初の頃と比べると発表がより良いものとなり、成長したと感じます。

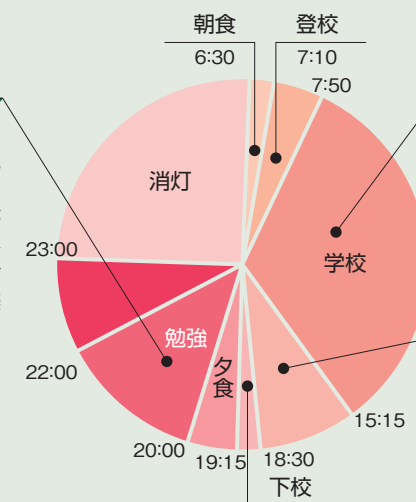
2年 小林 最愛さん



## 奥高生の一日

### 寮や下宿での生活

寮には現在1～3年生の45名(松風39、潮風6)が生活しています。また、奥尻島にある民宿のご協力を得て、それぞれの民宿に2～5人程度が一緒に生活しています。寮のように大人数での共同生活ではないですが、その分同じ下宿に住むクラスメイトや下宿の大家さんと濃い関係を築けます。



### まなびじま奥尻プロジェクト

普段の授業では、グループワークでの活動やプレゼンテーションを行う機会が多いです。そのコミュニケーションの場をより有意義にするために、本校ではピア・サポート・プログラムも実施しています。教科横断的に身につけた能力を全て生かす場として、町おこしワークショップなどを中心として、地域創生を追求したまなびじま奥尻プロジェクトが行われています。

### 放課後活動

放課後の時間は、野球部、女子バレーボール部、卓球部、吹奏楽部、ボランティア局、そしてオクシリノベーション事業部が活動しています。その他にも、スタディサプリで勉強に励む生徒や外部機関と連携して専門的な研究に取り組む生徒など、思い思いの活動を積極的に行っています。

## 令和2年度より推薦入学者選抜(面接等)を実施しています

【期日・会場】令和5年2月10日(金)奥尻高校 【入学枠(%程度)】30%(12名)・国内全域

### 【入学者の受入れに関する方針】

- ◎ 学ぶ意欲があり、自己を高めるための努力を惜しまない生徒
- ◎ 地域の課題解決に向けて主体的に取り組む姿勢のある生徒
- ◎ 探究活動等の諸活動に意欲的に取り組む生徒